

介護職員等処遇改善加算Ⅰにかかる情報公開（見える化要件）

介護職員の処遇改善につきましては、これまでも何度かの取り組みが行われてきました。

令和6(2024)年4月の介護報酬改定において「介護職員等処遇改善加算」の見直しがされ、当法人におきましても「介護職員等処遇改善加算Ⅰ」の加算算定を行っております。

当該加算を算定するにあたり、

- ① 月額賃金改善要件Ⅰ、Ⅱ
- ② キャリアパス要件Ⅰ～Ⅴ
- ③ 職場環境等要件

という3つの要件を満たしている必要があります。

③の中にあるHP掲載等を通じた見える化要件とは、介護サービスの情報公表制度や、自社のホームページを活用して、職場環境等要件に関する具体例な取組内容を公表していることです。

以上の要件に基づき、当法人における処遇改善の職場環境等要件に関する具体的な取り組みにつきまして以下の通り公表いたします。

	職場環境要件項目	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用実績でも可）	短時間勤務の職員なども積極的に採用し、子育て中の主婦層や中高年齢者の採用を実施している。
	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	ホームページや事業計画に記載。入職時研修でも説明している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	近隣の学生の職業体験の受入れや近隣の児童館と協働でのハロウィンイベントなど実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	各種研修について情報提供のみならず勤務扱いでの受講や受講料の負担などをすることで職員の資質向上の支援をしている。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	研修受講者については人事考課の際に評価対象としている。

	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	人事考課の際などに上長による面談を実施する機会を設けている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	短時間正職員制度や正規職員への転換など実施している。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	担当者が有給休暇の消化日数を定期的に確認し取得へ向けて声掛けを行っている。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	リネン交換専門職員を雇用することで介護職員への業務負担が軽減出来、有給休暇の取得促進へつなげている。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	ストレスチェックの実施及び休憩室の設置をしている。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	産業医を配置し相談体制を取っている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	マニュアルを作成し各部署へ配布している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	介護ソフトを導入している。
	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	移乗介助に関する課題を可視化する為定量的評価を実施するなどしている。
	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている	アドバンスセミナーを受講するなど業務改善の体制構築を進めている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	移乗支援の介護ロボットを導入している

	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。	ベッドメイクや清掃などを専門スタッフやアウトソーシングなどで対応している。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	作成し実施している。
やりがい・働きがいの醸成	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域児童クラブと交流しハロウィンや敬老イベントなどを実施している。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	入職時研修や施設内研修で学ぶ機会を設けている。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定期的なフロアミーティング等で気づきを共有し改善につなげている
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	朝礼や運営連絡会議の際に共有している。